

大阪経済記者クラブ会員各位
(同時提供先：森之宮記者クラブ、近畿建設記者クラブ)

大阪商工会議所×UR 都市機構 まちなかりビングラボプロジェクト

大阪城東部地区(UR 森之宮団地等)における実証実験

「UR 森之宮団地におけるマイクロ MaaS 実証実験 (遠隔操作モビリティによるラストマイル団地内移動)」 の実証実験を開始

【お問合せ先】

- 大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当(瀧本、門、西田)
TEL:06-6944-6300
- 独立行政法人都市再生機構 西日本支社
都市再生業務部 事業企画課(壽賀、谷内、柏井、中山)
TEL:06-4799-1172

- **株式会社竹中工務店** (取締役社長=佐々木正人、本社：大阪府中央区、以下、竹中工務店) は、**遠隔操作モビリティを活用したラストマイル団地内移動のマイクロ MaaS 実証実験**を実施する。同実証実験は、大阪商工会議所と UR 都市機構が公募した大阪城東部地区にある UR 都市機構旧森之宮庁舎、UR 森之宮団地、UR 森之宮第 2 団地を活用した実証実験に採択された事業の一つ。
- 昨今、「ラストマイル」の移動支援ニーズが高まる中、自動運転ではなく遠隔操作により搭乗者を安全かつスムーズに目的地まで移動させるサービスが注目されている。一方で、遠隔操作の安全性確保や効率的な運用方法などの課題がある。
- そこで、同実証実験では、遠隔操作モビリティを UR 森之宮第 2 団地内で走行させ、遠隔操作の操作性・安全性、さらに遠隔操作者と搭乗者のコミュニケーション、モビリティに搭載した WEB カメラ画像を活用した団地内の見守りなど新サービスの可能性を検証する。実証期間は、2024年10月22日(火)から10月24日(木)まで。
- 竹中工務店は、同実証実験の結果を踏まえ、**高齢者の移動支援をはじめ、新たな就労機会の創出や見守りなどモビリティを軸とした新サービスの実用化をめざす。**

【実証実験の概要】

1. **実施期間**：2024年10月22日(火)から10月24日(木)まで
2. **実施場所**：UR 森之宮第 2 団地 (大阪府城東区森之宮 2 丁目)
3. **実施主体**：株式会社竹中工務店
取締役社長 佐々木 正人
本社：大阪府中央区本町 4-1-13
＜協力＞株式会社電通総研、株式会社ジザイエ、株式会社テムザック

■実証実験の目的

高齢化の進展に伴い、高齢者等の日常生活における移動手段の確保が社会的な課題となっている。特にバス停や最寄り駅から自宅までの「ラストマイル」と呼ばれる短距離の移動に困難を抱えるケースが多い。そこで、同実証実験では、遠隔操作モビリティを団地内に走行させることで、ラストマイル移動サービスの実現可能性を検証する。加えて、同モビリティを通じた新しい就労形態の創出や、見守りなど新サービスの可能性も探る。

■実証内容

電動車椅子をベースとしたテムザック社製のモビリティ「RODEM（ロデム）」を遠隔操作化し、UR 森之宮第 2 団地内で走行させる。団地の集会所に設けた遠隔操作室からリアルタイム遠隔就労支援プラットフォーム『JIZAIPAD』を用いて、車両制御や搭乗者とのコミュニケーションを取りながら、搭乗者を目的地まで移動させる。実験期間中は、団地住民を対象とした体験乗車会も実施する。

同実証実験を通じて、遠隔操作の応答性や障害物の把握、緊急時の停止機能などを評価するとともに、搭乗者の利便性の向上や将来的なニーズについて意見を収集する。また、マイク・スピーカーを介した会話の聞き取りやすさ、指示の伝達のしやすさを確認する。さらに、モビリティに搭載した WEB カメラの映像から、周辺の人々の動きや不審物、団地内の見守りサービスなどの可能性を検証する。



▲本実証実験の遠隔操作モビリティサービス

■今後の展望

竹中工務店は、同実証実験の結果を踏まえ、モビリティを利用したラストマイル移動サービス（マイクロ MaaS 市場）の構築と展開を図る。さらに、遠隔操作を業務とする就労機会の創出や、見守りなど、遠隔操作モビリティを軸とした新サービスの実用化をめざす。高齢化が加速する中、遠隔操作モビリティは地域課題の解決と新たな価値創造を両立する有望なソリューションとして期待される。

(参考) ◆大阪城東部地区(UR 森之宮団地等)における実証実験の公募について

大商と UR 都市機構は共同で、2024 年 3 月 26 日～5 月 10 日まで、将来の大阪の「ヒガシの拠点」として注目を集める大阪城東部地区にある UR 都市機構旧森之宮庁舎、UR 森之宮団地、UR 森之宮第 2 団地を活用した実証実験を募集した。多様な人々が共存する UR 森之宮団地等で、「あたらしい関係や交流の形成」を促進し、「あたらしい価値の創出」を目的に先端技術を活用した実証実験の公募を行い、14 件を実証実験実施候補として採択した。採択後、実施を辞退した 2 件を除く 12 件について、2024 年度内に実証実験を実施する。

【実証実験公募採択時のプレスリリース、2024 年 6 月 28 日】

https://www.osaka.cci.or.jp/Chousa_Kenkyuu_Iken/press/20240628UR14.pdf

以上